

2023 年度 第 5 回 一般社団法人 日本地球化学会理事会 議事録

日時 2024 年 2 月 27 日 (火) 10:00-12:50

場所 東京大学 本郷キャンパス 理学部一号館 710 号室

(ZOOM によるオンライン対応)

<https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/j/86314033446?pwd=JfOAD7abMrfRbvgGslCdIAwBKCbK08.1>

出席者 高橋 嘉夫, 南 雅代, 横山 哲也, 飯塚 理子, 板井 啓明, 上野 雄一郎, 太田 充恒, 小川 奈々子, 癸生川 陽子, 小木曾 哲, 白井 厚太郎, 瀬戸 繭美, 橘 省吾, 角皆 潤, 古川 善博, 堀 真子, 山口 瑛子, 山本 順司, 若木 重行, 川幡 穂高 (監事), 吉田 尚弘 (監事)

欠席者 小畑 元, 黒田 潤一郎, 平田 岳史, 丸岡 照幸

オブザーバ 鈴木 勝彦, 田中 万也, 豊田 栄, 福士 圭介

1. 審議事項

1.1. 2024 年度年会について

若木企画幹事より, 2024 年金沢大会の概要, 基盤セッションとその理事コンビーナの割り振り, および過去の年会ホームページのアーカイブ費用について, 資料に沿って提案があり, 承認された。また, 参加費および 2024 年度年会ホームページについて, 資料に沿って説明があり, これらの詳細については次回の理事会で LOC から提案することが確認された。オブザーバー参加の福士会員からも, LOC の準備状況の説明があり, 高校生セッションや一般講演会の開催などの提案があり, 了承された。

1.2. 2024 年 GJ 賞受賞者選考について

2024 年 GJ 賞について, GJ 編集委員からの推薦および学会賞等受賞者選考委員会による選考結果が, 鈴木 GJ 編集委員長より資料に沿って説明され, 承認された。

1.3. 2023 年度第 2 回鳥居・井上基金助成の採択について

山口庶務幹事より, 2023 年度第 2 回鳥居・井上基金助成について 1 件の応募があったこと, および鳥居・井上基金選考委員会による審査結果が資料に沿って説明され, 承認された。

1.4. GJ 学生論文賞について

高橋会長より, GJ 学生論文賞について, 前回の理事会における議論内容の確認および将来計画委員会での議論内容が資料に沿って説明された。GJ 学生論文賞の授賞が単名であることなど懸念事項が残るため引き続き審議が必要であるが, 当面は現在のまま継続することが提案され, 承認された。

1.5. 和文誌の値上げについて

豊田会計幹事より、国際文献社からの和文誌出版費用の値上げについて、資料に沿って説明され、値上げを認めることが承認された。

1.6. GJ 特集号の APC について

鈴木 GJ 編集委員長より、GJ 特集号の APC について説明があった。APC を割り引くことで論文の増加が見込まれる一方、出版による赤字が懸念されることから、特別号における APC の割引は行わないことが承認された。

1.7. 学会ウェブサイトの刷新及び Working Group の立ち上げについて

南副会長より、学会ウェブサイトの刷新について、資料に沿って説明がなされた。ウェブサイトの作成および保守を依頼する会社について、3 社を候補として検討し、見積りの結果をもとに株式会社ノイエカに依頼することが提案され、承認された。また、学会ウェブサイト刷新のための Working Group を立ち上げることが提案され、承認された。

1.8. 化学連合との連携について

高橋会長より、日本化学連合の正会員から連絡会メンバーに将来的に移行することが確認された。

1.9. 賛助会員/協賛企業の整理について

太田会員幹事より、現状の賛助会員と協賛企業を賛助会員と特別賛助会員に整理すること、および両者の特典について資料に沿って提案があった。また、これらを整理するため、「会員および会費規程」の改訂、正会員と名誉会員の特典を明記する「正会員および名誉会員細則」の制定、賛助会員と特別賛助会員の年会費と特典について明記する「賛助会員細則」の制定、および細則に記載しない特典については学会ウェブサイトに記載すること、について提案があり、これらを作成することが承認された。また、関連して和文誌「地球化学」の投稿規程も改訂することが確認された。

2. 報告事項

2.1. 会長

高橋会長より、以下の内容について説明があった。

- ✓ 地球化学若手の会（春の研究会）について
- ✓ IGC2024 への参加について

- ✓ 2024 JpGU「地球化学の最前線」について
- ✓ 科研費審査区分表及び審査方式等の見直しに係る意見の公募について

2.2. 副会長，名誉会員推薦委員会

南副会長より，名誉会員推薦についての現状と問題点が資料に沿って説明された。今後，名誉会員推薦委員会で議論していくことが確認された。

2.3. 地球化学編集委員長

田中地球化学編集委員長より，企画中の特集や編集状況などが報告された。

2.4. GJ 編集委員長

鈴木 GJ 編集委員長より，特集号や編集状況などが報告された。

2.5. 出版幹事

山口庶務幹事より，GJ 10-Year Most Cited Paper Award (2024)および GJ 5-Year Most Cited Paper Award (2024)に該当する論文が報告された。また，査読者表彰の選定方法の検討内容も報告された。

2.6. 広報幹事

山本広報幹事より，ウェブサイト更新，ニュース記事・講師派遣，JpGU および Goldschmidt 会議でのブース出展，学会ウェブサイト刷新，クリアファイルの制作などについて報告があった。

2.7. 会員幹事

太田会員幹事より，2023 年 10~12 月の会勢報告，会費滞納者，50 年会員表彰について，報告があった。50 年会員表彰については，一部入会時期が不明確な会員がいたが，入会期間が 50 年を超えているとみなされるため，これらの方々も表彰対象とすることとした。

2.8. 会計幹事

豊田会計幹事より，金額の大きな出納案件や寄付金報告などについて報告があった。

2.9. 国際幹事

上野国際幹事より，2024 年金沢年会における日中国際セッションの講演者，日台 MOU に基づく台湾学会への招待講演者の派遣，および Goldschmidt 会議の日本招致に関する進捗について報告があった。

2.10. 庶務幹事

山口庶務幹事より、山田科学振興財団 2024 年度研究援助 学会推薦者の決定や地学オリンピックへの PR ツール送付について報告があり、以下の共催・後援・協賛を行うことも報告された。

- ✓ 共催: JpGU2024 年大会におけるセッション
 - ✓ 共催: 第 21 回 同位体科学研究会
 - ✓ 共催: 第 17 回日本化学連合シンポジウム「防災と化学」
 - ✓ 共催: 市民講演会
 - ✓ 共催: 高校生ポスターセッション
 - ✓ 後援: 第 29 回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会
 - ✓ 協賛: 日本農芸化学会 2024 年度大会 シンポジウム「日本農芸化学会 2024 年度大会」
- また、男女共同参画学協会連絡会の退会方法や今後の予定について説明があった。

以上の議事を終え、12 時 50 分に閉会した。